

事業実績報告書

事業名	スポーツ栄養普及事業	団体名	帝京大学スポーツ医科学センター
研修・講習会名	帝京大学スポーツ医科学センター主催『スポーツ栄養カンファレンス』		
開催日時	平成 30 年 2月4日(日) 10:30~16:40	開催場所	帝京大学八王子キャンパス
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基調講演 「骨の成熟と老化を科学する-スポーツ現場に活かす骨質の評価と予防と治療の最前線-」 斎藤充先生（東京慈恵会医科大学整形外科 准教授・診療部長） ・ ランチョンセミナー 「チームの競技力向上に貢献する」 加藤基（帝京大学スポーツ医科学センター） ・ シンポジウム 「スポーツ現場におけるコンディショニング～ベストパフォーマンス獲得のため に～」 「アスリートのエネルギーバランスと身体組成」 塩瀬圭佑先生（福岡大学） 「陸上長距離選手の栄養サポート」 大村香織 葛西真弓（帝京大学スポーツ医科学センター） 「国内外の競技現場におけるコンディショニングに関する実情」 久木留毅先生（日本スポーツ振興センター国立スポーツ科学センター 副センター長 ハイパフォーマンス戦略部部長） ・ 情報交換会 		
事業全体の 成果	<p>スポーツ医科学における栄養の可能性を検討するにあたり、最新のスポーツ医科学を応用し現場の実践へと活かすことが課題となる。新たな知見を得ることはスポーツ現場における多角的アプローチへと繋がることから、栄養関係者のみに限らず、スポーツ現場に携わる多分野スタッフとの交流も経て、活発なディスカッションへと繋げていくことを目的とした。</p> <p>基調講演では骨質研究の第一人者である斎藤充先生をお招きし、スポーツ現場で頻発する骨障害予防に向けたアプローチを学ぶことができ、シンポジウムではベストコンディション獲得に向けた多分野連携をテーマに、近年話題になっているトピックをテーマにした「研究」と「現場」の融合を図る内容であったため、スポーツ栄養の更なる発展の一助に繋がるものであった。</p> <p>当日は218名の方に参加頂き、ディスカッションの時間も大盛況に終わった。特に、国立スポーツ科学センター副センター長の久木留先生からはスポーツ栄養の現状を踏まえた今後の活動への期待となる内容でご講演頂いたこともあり、参加者にとってもいい刺激となったと思われる。</p>		